

復活前主日特祷

人類を深く愛し、救い主、み子イエス・キリストをこの世に遣わされた全能の神よ、み子はわたしたちと同じ肉体を取り、己を低くして死に至るまで、十字架の死に至るまであなたに従われました。どうかわたしたちに恵みを与えて、み子の苦しみの模範に従わせ、またそのよみがえりにあずかせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。**アーメン**

旧約聖書 イザヤ書 50章4－9節 a

50:4 主なる神は、弟子としての舌を私に与えた、疲れた者を言葉で励ますすべを学べるように。主は朝ごとに私を呼び覚まし、私の耳を呼び覚まし、弟子として聞くようにしてください。5 主なる神は私の耳を開かれた。私は逆らわず、退かなかった。6 打とうとする者には背中を差し出し、ひげを抜こうとする者には頬を差し出した。辱めと唾から私は顔を隠さなかった。7 主なる神が私を助けてくださる。それゆえ、私は恥を受けることはない。それゆえ、私は顔を火打ち石のようにし、辱められないと知っている。8 私を義とする方が近くにおられる。誰が私と争えようか。我々は共に立とう。誰が私の裁き人か。私に近づくがよい。9 見よ、主なる神が私を助けてくださる。誰が私を罪に定められよう。

詩 編 第31編9～16節

- 9 主よ、憐れんでください。私は苦しんでいます || 目は憂いによって衰えました、魂もはらわたも
- 10 悲しみによって、私の命は、嘆きによって、私の歳月は尽き果てました || 過ちによって、私の力はうせ、骨は衰えました
- 11 私は、私を苦しめる者すべてのそしりの的となりました || 隣人にはいっそうのこと、親しい者にも恐れられ、外で私を見れば、人は逃げ去りました
- 12 死者のように人の心から忘れられ || 壊れた器のようになりました
- 13 多くのささやきが聞こえました「周りから恐怖が迫る」と || 彼らは私に対して共に謀り、私の命を奪おうとたくらみました
- 14 しかし、主よ、私はあなたに信頼します || 私は言いました、あなたこそわが神、と
- 15 私の時は御手にあります || 敵の手から、迫り来る者から、私を助け出してください
- 16 僕の上に御顔を輝かせ || 慈しみによって、私を救ってください

使徒書 フィリピの信徒への手紙 2章5－11節

5 互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにも見られるものです。6 キリストは、神の形でありながら、神と等しくあることに固執しようとは思わず、7 かえって自分を無にして、僕の形をとり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、8 へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで、従順でした。9 このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名を、お与えになりました。10 それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものすべてが、膝をかかめ11 すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神が崇められるためです。

福音書 ルカによる福音書 22章14－23章56節

22:14 時刻になったので、イエスは食事の席に着かれた。使徒たちも一緒だった。15 イエスは言われた。「苦しみを受ける前に、あなたがたと共に、この過越の食事をしたいと、私は切に願っていた。16 言うておくが、神の国で過越が成し遂げられるまでは、私はもはや二度と過越の食事をするのではない。」17 そして、イエスは杯を取り、感謝の祈りを献げて言われた。「これを取り、互いに分けて飲みなさい。18 言うておくが、神の国が来るまで、私は今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」19 それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを献げてそれを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる私の体である。私の記念としてこのように行いなさい。」20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、私の血による新しい契約である。21 しかし、見よ、私を裏切る者が、私と一緒に手を食卓に置いている。22 人の子は、定められたとおりに去って行く。だが、人の子を裏切る者に災いあれ。」23 そこで使徒たちは、自分たちのうち、一体誰がそんなことをしようとしているのかと互いに議論をし始めた。

24 また、使徒たちの間に、自分たちのうちで誰がいちばん偉いだろうか、という言い争いも起こった。25 そこで、イエスは言われた。「異邦人の王たちはその民を支配し、民の上に権力を振るう者が恩人と呼ばれている。26 しかし、あなたがたはそれではいけない。あなたがたの中でいちばん偉い人は、いちばん若い者のようになり、上に立つ人は、仕える者のようになりなさい。27 食事の席に着く人と仕える者とは、どちらが偉いか。食卓に着く人ではないか。しかし、私はあなたがたの中で、仕える者のようになっている。28 あなたがたは、私が試練に遭ったときも、私と一緒に踏みとどまってくれた人たちである。29 だから、私の父が私に王権を委ねてくださったように、私もあなたがたにそれを委ねる。30 こうして、あなたがたは、私の国で食卓に着いて食事を共にし、王

座に座ってイスラエルの十二部族を裁くことになる。」

22:31 「シモン、シモン、サタンはあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願った。32 しかし、私は信仰がなくならないように、あなたのために祈った。だから、あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい。」33 シモンは言った。「主よ、ご一緒になら、牢であろうと死であろうと覚悟しております。」34 イエスは言われた。「ペトロ、言うておくが、今日、鶏が鳴くまでに、あなたは三度、私を知らないと言うだろう。」

35 それから、イエスは使徒たちに言われた。「財布も袋も履物も持たせずにあなたがたを遣わしたとき、何か不足したものがあつたか。」彼らが、「何もありませんでした」と言うと、36 イエスは言われた。「しかし今は、財布のある者は、それを持って行きなさい。袋も同じようにしなさい。剣のない者は、衣を売って剣を買いなさい。37 言うておくが、『彼は犯罪人の一人に数えられた』と書いてあることは、私の身に必ず実現し、事実、私に関わることが今、実現しているのだ。」38 そこで彼らが、「主よ、剣なら、ここに二振りあります」と言うと、イエスは言われた。「それでよい。」

39 イエスはそこを出て、いつものようにオリーブ山に行かれると、弟子たちも従った。40 目的の場所に来ると、イエスは弟子たちに、「誘惑に陥らないように祈りなさい」と言われた。41 そして自分は、石を投げて届くほどの所に離れ、ひざまずいてこう祈られた。42 「父よ、御心なら、この杯を私から取りのけてください。しかし、私の願いではなく、御心のままに行ってください。」〔ルカ 22:43 すると、天使が天から現れて、イエスを力づけた。44 イエスは苦しみもだえ、いよいよ切に祈られた。汗が血の滴るように地面に落ちた。〕45 イエスは祈り終わって立ち上がり、弟子たちのところに戻って御覧になると、彼らは心痛のあまり眠り込んでいた。46 イエスは言われた。「なぜ眠っているのか。誘惑に陥らぬよう、起きて祈っていなさい。」

47 イエスがまだ話しておられると、群衆が現れ、十二人の一人でユダと言う者が先頭に立って、イエスに接吻しようと近づいた。48 イエスは、「ユダ、あなたは接吻で人の子を裏切るのか」と言われた。49 イエスの周りにいた人々は、事の成り行きを見て取り、「主よ、剣で切りつけましょうか」と言った。50 そのうちのある者が大祭司の僕に打ちかかって、その右の耳を切り落とした。51 イエスは、「もうそれでやめなさい」と言い、その耳に触れて癒やされた。52 それから、イエスは、押し寄せて来た祭司長、神殿の管理者、長老たちに言われた。「まるで強盗にでも向かうように、剣や棒を持ってやって来たのか。53 私は毎日、神殿の境内で一緒にいたのに、あなたがたは私に手出しをしなかった。しかし、今はあなたがたの時であり、闇が支配しているのである。」

54 人々はイエスを捕らえ、引いて行き、大祭司の家に連れて入った。ペトロは遠くから付いて行った。55 人々が中庭の真ん中に火をたき、一緒に座っていたので、ペトロも中に混じって腰を下ろした。56 すると、ある召し使いの女が、火明かりの中にペトロの

座っているのを目にして、じっと見つめ、「この人も一緒にいました」と言った。57 しかし、ペトロはそれを打ち消して、「あんな人など知らない」と言った。58 少したってから、ほかの人がペトロを見て、「お前もあの連中の仲間だ」と言うと、ペトロは、「いや、違う」と言った。59 一時間ほどたつと、また別の人が、「確かに、この人も一緒だった。ガリラヤの者だから」と言い張った。60 だが、ペトロは、「あなたの言うことは分からない」と言った。まだ言い終えないうちに、たちまち鶏が鳴いた。61 主は振り向いてペトロを見つめられた。ペトロは、「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度、私を知らないと言うだろう」と言われた主の言葉を思い出した。62 そして外に出て、激しく泣いた。

63 さて、イエスを拘束していた者たちは、イエスを侮辱し、打ち叩いた。64 そして目隠しをして、「お前を殴ったのは誰か、言い当ててみろ」と尋ねた。65 そのほか、さまざまな悪口をイエスに浴びせた。

66 夜が明けると、民の長老会、祭司長たちや律法学者たちが集まり、イエスを最高法院に連れ出して、67 「お前がメシアなら、そうだとするがよい」と言った。イエスは言われた。「私が言っても、あなたがたは決して信じないだろう。68 私が尋ねても、決して答えないだろう。69 しかし、今から後、人の子は力ある神の右に座る。」70 そこで、皆の者が、「では、お前は神の子か」と言うと、イエスは言われた。「私がそうだと、あなたがたが言っている。」71 人々は、「これでもまだ証言が必要だろうか。我々は本人の口から聞いたのだ」と言った。